

課題分析

- ・様々な行動からなる課題を細かなステップで書き下すこと。
→どの過程でつまづいているのか理解しやすく、教え方の工夫ができる。
- ・目標設定時や実践中に上手くいかないときに課題分析をするとよい。
- * 抽象的な目標を具体的な目標に書き下す時にも使用できる。

実態：登校後の準備が1人でできない

行動	4月19日	4月20日	4月21日
教科書や筆箱を机に入れる	×	×	×
水筒をカゴにおく	○	○	○
提出物を出す	×	×	×
宿題を出す	×	×	×
カバンをロッカーに片付ける	○	○	○

○・・・1人でできる
×・・・できなかった

水筒をカゴにおくことはできている。かばんを背負ったまま水筒を置いているようだ。宿題や提出物もかばんを持ったまま動いて、カゴに入れるようにすれば、できるかも…(ABC分析のA「きっかけ」の変更)。まずは、「宿題をカゴに入れる」を目標にしてみよう。

目標 登校したら、宿題をカゴに入れる

(ABC分析のB「望ましい行動」、課題分析から絞り込んだ目標)

3点・・・1人でできる
1点・・・先生と一緒にできる
2点・・・先生の声かけや指さしでできる
0点・・・できなかった

スモールステップで得点を設定。
→支援の度合い(1人で、声かけで等)や達成度で得点を設定する。

行動	4月22日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	5月6日
カゴの近くにかばんを持ってくる	1	2	3	3	3	3
かばんから宿題を出す	1	2	2	3	3	3
宿題をカゴに入れる	2	3	3	3	3	3
				9	9	9

達成できたことを、子どもと一緒に確認し、承認・賞賛する(ABC分析のC「子どもにとって良い結果」)。目標・価値・行動のひもづけが大切!

児童生徒にも分かりやすいように具体的に目標を設定する。

宿題プリントをどこに入れたか覚えていないようだ。連絡ファイルに宿題を入れる封筒を貼ってみよう(ABC分析のA「きっかけ」の変更)。

児童生徒が「またやってみよう!」と思えるような褒め方を考えることが大切。本人と一緒に決めるのもGOOD!

目標 9点を3回とることができる

→

ごほうび 宿題なし券を1枚もらえる

ABC分析のC「子どもにとってよい結果」→行動の強化につながる。

もう少し定着したか様子を見て、次は「提出物を出す」を目標にしてみよう。
だんだん1人で登校後の準備ができるようにしていこう。